

【概要・目的】

民間施設への木造化の普及を図るため、施主に対し木造施設への理解を深める取り組みの推進と、木造施設を提案できる建築士を育成する。また、施設内の空間を確保するために、長スパン等に対応可能な商品を開発する。

平成 28 年度の当初計画 (P)

1. 低層非住宅の木造化の推進 [新規]

- (1) 高知県林業活性化推進協議会による非住宅建築物木造化の推進
 - ・非住宅木造建築を紹介する事例集の作成（～2月）
 - ・コスト削減に繋がる新製品の開発（～2月）
 - ・建築士の技術力向上（5月、2月）
- (2) 県内外への販売促進
 - ・土佐材パートナー企業等への販促活動（2月～）

計画を進めるに当たってのポイント

- 1. 施主や建築士に、木造化のきっかけとなる事例集の作成。低コスト化に繋がる新製品の開発。
- 2. 非住宅木造建築に係る建築士の技術力の向上

平成 28 年度の取り組み状況 (D)

1. 低層非住宅の木造化の推進

- (1) 高知県林業活性化推進協議会
 - ・検討委員会の開催（5/17、7/12、9/16、12/6、3/10（予定））
 - ・WG 1 による製品開発の検討（5月:1回、6月:5回、検討委員会まで各担当者により対応）
 - リーズナブルな新製品（案）のアイデア出し及び実現化の検討（10案→4案を選定）
 - 9/16の検討委員会において3案に選定し、実験計画を作成
 - 新製品の实用化に必要な実験（スギ：要素試験32種類、実大試験2種）
 - ヒノキ仕様及び商品化に向けた最終の実大試験（1～3月（予定））
 - ・WG 2 による事例集作成の検討
 - （6月:5回、7月:2回、8月:2回、9月:2回、10月:3回、11月:2回）
 - 土佐材パートナー企業から非住宅建築の事例収集（6月:2施設）
 - 建築雑誌等から優良木造建築の選定及び図面等の整理
 - 県内38件、県外6件程度の掲載に向け調整中（1月末（予定））
 - 県内非住宅木造建築の現地調査（梶原町）
 - 土佐材パートナー企業及び県外事例の調査・取材（12～1月）
 - ・施主や建築士を対象としたセミナーの開催（5/17：参加者52名、3/10（予定））
 - （5/17）地域材を利用した木造建築の取り組み、木造ラーメン等の設計及び試験方法
 - （3/10）事例集や新商品の紹介（県内の建築士、施主など）
 - ・内装材等の開発に向けた検討（建築士、木材加工者など）
 - ・H29 に向け、モデル施設の整備及びトータルコストの把握に係る仕組みを検討
- (2) SWPの普及PR
 - ・SWP設計マニュアル講習会（9/21：約40名）
 - ・SWPの展示PR
 - へんしも防災（帯屋町9/25）
 - 木造住宅フェアの開催（中央公園10/23）
 - WORKS2016「木の建築・博」（県立美術館：11/10-13 [450人]）
- (3) 県内外への販売促進
 - ・モデル建築物の掘り起こし（10-11月）
 - 3施設の予算を検討（旅館、商業施設など）

課題と平成 29 年度の取り組み（予定）(C、A)

課題

1. 低層非住宅の木造化の推進

- (1) 高知県林業活性化推進協議会による非住宅建築物の木造化の推進
 - ・モデル施設の整備による実績づくり
 - ・施工を含めたトータルコストを把握し、競争力の高い製品開発・改良

平成 29 年度の取り組み（予定）

1. 【拡充】低層非住宅の木造化の推進

- (1) 高知県林業活性化推進協議会による非住宅建築物の木造化の推進
 - ・新製品のトータルコストや施工性の調査
 - モデル施設における新製品の設置に係る状況調査
 - ・製品の改良
 - 調査に基づき改良を行い、製品の磨き上げ
 - ・内装材等の開発
 - インテリアデザイナーと木材加工業者等と連携した新製品の試作
- (2) 新製品を活用したモデル建築物の整備（3施設）
 - ・旅館、商業施設など
- (3) 県内外への販売促進
 - ・土佐材パートナー企業、協働の森づくりパートナー企業等への販促活動（4月～）

【平成 31 年度末の目標（H28 到達目標）】

1. 低層非住宅の木造化率 = H31：34%（H28：31%（H26：26%））

【直近の成果】

1. 低層非住宅の木造化率 : 32%（H27実績）